

「NT1100」「ADV350」「HR-V」「EU32i」が 2022年レッド・ドット・デザイン賞：プロダクトデザイン部門を受賞 ～二輪車・四輪車・パワープロダクツ 3領域で同時受賞～

世界的に権威のあるデザイン賞の一つ「レッド・ドット・デザイン賞」※1 プロダクトデザイン部門において、Honda の新型スポーツツアラー「NT1100」、中型スクーター「ADV350」（海外専用モデル）、コンパクト SUV「HR-V」（日本名：ヴェゼル）、ハンディタイプ発電機「EU32i」（日本名：EU26iJ）の4製品がレッド・ドット賞を受賞しました。Honda として、二輪車・四輪車・パワープロダクツ 3領域での同時受賞は初となります。



reddot winner 2022
motorcycle design



NT1100（欧州仕様車）



reddot winner 2022
motorcycle design



ADV350（海外専用モデル）



reddot winner 2022
car design



HR-V（欧州仕様車）



reddot winner 2022



EU32i

■各製品について

【NT1100】

NT1100 は、「快適性」「多用途性」を高次元でバランスさせることで、日常の扱いやすさと長距離走行の快適さを両立した新型スポーツツアラーです。ライダーを中心に造形されたコンパクトなプロポーションに、ウインドプロテクション性能を徹底して追求。気軽に、快適に乗れるアップライトなライディングポジションとし、スリムなシート幅と合わせ足つき性にも配慮しています。

《特長》

- ・デザインはシンプルでありながら洗練され、エレガントでモダンなイメージを採用。キャラクターラインを強調することで引き締まった印象と軽快さを与えています。
- ・排気量 1,082cm³ の水冷直列 2 気筒エンジンを搭載し、低速から豊かで幅広く使えるトルクと高回転までスムーズに回る特性を持たせることで、力強くスポーティーな走りを楽しめます。

【ADV350】（海外専用モデル）

ADV350 は、洗練されたシティースクーターにアドベンチャーモデルのスタイルを融合することで、市街地はもちろん、荒れた舗装路やフラットダートなどでの軽快な走行を楽しむことのできる「シティーアドベンチャー」という新たな価値を提案する中型スクーターです。デザインは前後方向の凝縮感をより強調したボディーと長めに設定したサスペンションによるアップライトなシルエットでアクティブな印象を表現。またエッジを際立たせた面構成でスタイリッシュさを演出しています。

《特長》

- ・洗練された都会のシーンにも、緑が映える郊外のシーンにもマッチするスタイリング。
- ・エンジンは、低フリクション設計による高い燃費や環境性能を備えた 330cc の水冷 4バルブ単気筒エンジン「eSP+（イーエスピープラス）」^{※2}を搭載。
- ・路面状況に合わせた走行を可能にする Honda セレクタブル トルク コントロール（HSTC）^{※3}を搭載。市街地と郊外の走りに適した出力特性を実現します。

【HR-V】（日本名：ヴェゼル）

HR-V は「AMP UP YOUR LIFE（アンプ アップ ユア ライフ）」をグランドコンセプトに、日常生活の質の向上を重視し、アクティブで、新しいものにオープンな人々に向けて、実用性だけでなくプラスアルファの体験価値を提供することを目指して開発されたモデルです。Honda 独自の M・M 思想^{※4}に基づく「センタータンクレイアウト」により、乗る人全てが快適に移動できる、コンパクト SUV のクラス平均を超える広い室内空間^{※5}と居心地、多彩なシートアレンジを実現しています。

《特長》

- ・エクステリアは、クーペライクなプロポーションを際立たせながら、全席で爽快な視界を提供する「スリーク&ロングキャビン」を採用。サイドのラインを前後に貫かせた、水平基調のデザインとしました。
- ・パワートレインは、日常シーンのほとんどをモーターで走行し、低燃費で滑らかな走りを実現する 2 モーターハイブリッドシステム「e:HEV（イーエイチイーブイ）」を搭載。クラストップレベルの燃費性能^{※6}を達成しています。

【EU32i】（日本名：EU26i）

EU32i は、3kVA クラスの高出力と軽量・コンパクトで携帯性に優れたパッケージングを両立した新型ハンディタイプ発電機です。アウトドアやレジャー、災害時の備えなどさまざまな用途に対応するほか、専用アプリとの連携により離れた場所からの本体操作や稼働状況の確認が可能となり、利便性が向上しています。

《特長》

- ・新たに開発した排気量 130cm³ の GX130 エンジンを搭載。構造から見直しを図り小型・軽量化を追求したほか、燃焼効率を向上させています。
- ・ユーザーフレンドリーの思想で設計し、エンジンスイッチとリコイル操作の 2 ステップで始動可能としました。チョーク操作が不要で、不慣れな方でも扱いやすい仕様です。
- ・専用アプリ「Honda My Generator（ホンダ マイ ジェネレーター）」をダウンロードしたスマートデバイス^{※7}と EU32i を Bluetooth[®]で接続することで、離れた場所からのエンジン停止や稼働状態の確認などの操作が可能となり、作業効率の向上に寄与します。

■株式会社本田技術研究所 デザインセンター 執行役員 センター長 南 俊叙のコメント

「世界的なデザインアワードであるレッド・ドット プロダクトデザイン部門賞を三年連続して受賞することができました。これは Honda が創業より掲げている『技術・アイデア・デザインで人の役に立つ』という想いが、モーターサイクル、オートモービル、パワープロダクツ各商品に溢れていることを理解していただけた結果と考えています。今後もこの想いを忘れず、お客様に“驚きと感動”をお届けできるよう、チャレンジを続けていきます」

Honda デザインアワード 受賞歴

<https://www.honda.co.jp/design/award-history/award/06/>

- ※1 レッド・ドットは 1955 年に設立された、世界的に最も権威あるデザインに関する賞の一つ。主催はドイツ・エッセンを拠点とするノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター。プロダクトデザイン部門は 51 カテゴリーに分けられ、主に工業製品を対象に、デザインの革新性、機能性、耐久性、人間工学など 9 つの基準から審査されます
- ※2 環境対応型スクーター用エンジン“eSP”に付加価値技術を採用することで、高い環境性能だけでなく、出力の向上と、フリクションの低減を実現し、高出力と優れた環境性能を併せ持つ新世代環境対応型スクーター用エンジンの総称。eSP は、enhanced（強化された、価値を高める）Smart（洗練された、精密で高感度な）Power（動力、エンジン）の略
- ※3 Honda セレクタブル トルク コントロールはスリップをなくするためのシステムではありません。あくまでもライダーのアクセル操作を補助するシステムです。したがって Honda セレクタブル トルク コントロールを装備していない車両と同様に、無理な運転までは対応できません
- ※4 マン・マキシマム／メカ・ミニマム思想。人間のためのスペースは最大に、機械のためのスペースは最小限にして、クルマのスペース効率を高めようとする、Honda のクルマづくりの基本的な考え方
- ※5 2021 年 4 月時点、Honda 調べ
- ※6 コンパクト SUV カテゴリーにおいて。2021 年 4 月時点、Honda 調べ
- ※7 iOS または Android で動作するスマートフォンまたはタブレット端末

お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター0120-112010」^{いいふれあいを}へお願い致します。